令和8年度　杉並区施策評価シートⅠ

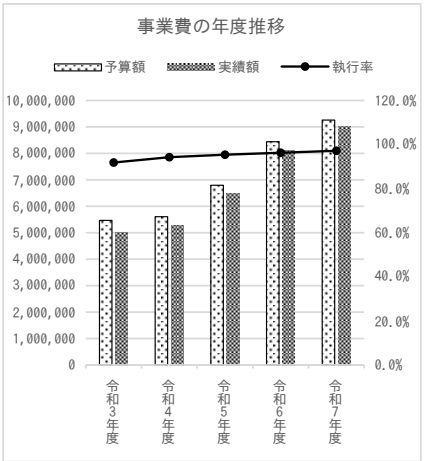
施策	22　学び続ける力を育む学校教育の推進		
分野	07　共に認め合い、みんなでつくる学びのまち		
施策担当課	済美教育センター	関係課	

施策目標

○子どもたちが探究の主体となって、自分らしい学びと他者と協力する学びを一体的に進めることにより、生涯にわたって学び続ける力が育まれています。
○教員が心身の健康を保持しながら本来の業務である学習指導や生活指導等に集中することができており、質の高い教育の持続発展につながっています。
○子どもたちが多様な他者と考え、話し合い、自分たちで学校をつくっていく経験を積み重ね、自分たちの学びが社会をつくるということを実感しながら学校生活を送っています。
○多様な大人が、チーム学校、幼保小連携・小中一貫教育、地域運営学校（学校運営協議会）の取組を通して子どもたちの学びを支え、大人自身も学び合いながら、地域に根ざした特色ある教育活動を自立的・協働的に行っています。
○児童・生徒1人1台のタブレット端末がより日常的に使用され、学習支援ソフトやデジタル教材の活用により、教員がより質の高い授業を展開しています。

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標年度 目標値
活動指標	学校支援本部活動回数	全学校支援本部の年間活動回数	回	計画	15,750	15,750	15,750	15,750	
				実績	12,322	12,554	13,781	-	
				達成率	78.2%	79.7%	87.5%	-	
	標準授業時数に占める外国語講師の配置時数の割合	ALT及びJTEの総配置時数÷外国語活動及び外国語科の総時数×100	%	計画	40.7	41	40.7	40.7	
				実績	40.7	40.5	40.7	-	
				達成率	100.0%	98.8%	100.0%	-	
	パワーアップ教室の参加者数	区立中学校3年生対象に区が実施する補習授業への参加延べ人数	人	計画	1,260	1,000	1,200	1,200	
				実績	983	636	556	-	
				達成率	78.0%	63.6%	46.3%	-	
	月当たりの時間外勤務が80時間以上の職員の割合	年度を通じて一度でも時間外勤務が80時間を超えた区立小中学校の教員の割合	%	計画	6.5	5.8	5.8	5.8	
				実績	7.2	5.5	8.8	-	
				達成率	110.8%	94.8%	151.7%	-	
成果指標	「必要なときに、必要なことを、自ら学び身に付けることができる」と感じている中学校3年生の割合	区立学校の生徒を対象とした質問紙調査による	%	計画	55	60	60	60	令和12年度
				実績	61.6	53.6	51.7	-	70%
				達成率	112.0%	89.3%	86.2%	-	
	分類　利用者満足度指標								
	「自分と違う意見や考え、気持ちも大切にできている」と感じている中学校3年生の割合	区立学校の生徒を対象とした質問紙調査による	%	計画	88	90	90	90	令和12年度
				実績	57	81.3	74.1	-	95%
				達成率	64.8%	90.3%	82.3%	-	
	分類　利用者満足度指標								
	「自分の力をより良い社会づくりに生かすことができる」と感じている中学校3年生の割合	区立学校の生徒を対象とした質問紙調査による	%	計画	51	55	55	55	令和12年度
				実績	47.1	63.9	63.5	-	65%
				達成率	92.4%	116.2%	115.5%	-	
	分類　利用者満足度指標								
	「自立的・協働的な学校づくりが進んでいる」と感じている保護者及び学校運営協議会委員の割合	区立学校に通う児童・生徒の保護者及び学校関係者を対象とした教育調査	%	計画	85	87	87	87	令和12年度
				実績	73	78.3	77.6	-	92%
				達成率	85.9%	90.0%	89.2%	-	
	分類　利用者満足度指標								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	5,466,684	5,605,823	6,794,782	8,440,336	9,259,050	9,943,708
			実績額	5,020,842	5,284,515	6,482,002	8,126,932	8,997,677	-
			執行率	91.8%	94.3%	95.4%	96.3%	97.2%	-
	人件費	千円	予算額	923,464	935,311	972,223	911,285	969,652	996,059
			実績額	959,637	952,994	955,287	1,001,511	1,032,500	-
			執行率	103.9%	101.9%	98.3%	109.9%	106.5%	-
	総事業費 （事業費+人件費）	千円	予算額	6,390,148	6,541,134	7,767,005	9,351,621	10,228,702	10,939,767
			実績額	5,980,479	6,237,509	7,437,289	9,128,443	10,030,177	-
			執行率	93.6%	95.4%	95.8%	97.6%	98.1%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	117,424	191,712	110,305	1,414,775	1,337,806	1,653,167
			実績額	101,610	713,855	175,034	1,088,089	1,328,690	-
			執行率	86.5%	372.4%	158.7%	76.9%	99.3%	-
	総事業費伸び率 （予算額、実績額の対前年度比）	%	予算額		2.4%	18.7%	20.4%	9.4%	7.0%
			実績額		4.3%	19.2%	22.7%	9.9%	-
	人件費比率 （人件費÷総事業費）	%	予算額	14.5%	14.3%	12.5%	9.7%	9.5%	9.1%
			実績額	16.0%	15.3%	12.8%	11.0%	10.3%	-



特記事項

【事業費の実績額増の理由】
・ＷＥＢＱＵ実施校について、令和6年度は小中学校合わせて9校が、令和7年度は34校に増えたため。
・児童・生徒用タブレットアップグレード作業委託費、教職員用ＰＣ端末システム等の更新業務委託費、区立学校情報ネットワーク基盤システム構築に係る業務委託費、教職員用ＰＣ端末システムの賃貸借費などが増えたため。
・拠点校方式による合同部活動の委託を新たに開始したため。
・その他、人件費、物価や燃料費の高騰などのため。

施策の成果	学校教育では、子どもたちが、学校生活を通して学び続ける力を育むため、パワーアップ教室や体力づくり教室、義務教育9年間の連続性を考慮した外国語教育を引き続き実施し、子どもたちの学力・体力の向上やコミュニケーション能力の育成を図りました。 ＩＣＴを活用した教育の推進では、ＩＣＴを活用した学習環境の整備を進めるため、児童・生徒1人1台の専用タブレット端末を、より高性能な端末へ更新しました。また、より効果的な授業を展開できるよう、授業支援ソフトやＡＩ型デジタルドリル等の活用に関する教員向け研修を実施しました。 就学前教育では、就学前教育施設の保育者等を対象としたオンライン研修を行う等、研修形態の更なる多様化を図ったほか、「杉並区幼保小接続期カリキュラム・連携プログラム」改定検討会を設置し、文部科学省が推進する「幼保小の架け橋プログラム」を踏まえた改定作業を進めました。 教員の働き方改革の推進では、教員の負担軽減を図るため、新たにエデュケーション・アシスタントを小学校全校に配置したほか、都費教職員の勤怠管理等の効率化を図るため、令和7年9月から庶務事務システム等を導入しました。 学校部活動では、1校で学校支援本部による放課後等活動をモデル実施するなど、地域クラブ活動への移行に向けた取組を推進しました。 地域運営学校等の推進では、小中連携校による学校運営協議会合同開催事例や、他校委員との自主勉強会の事例などの共有と意見交換を行い、協議会委員の活動の幅の広がりや新たな人とのつながりを生むきっかけを作りました。
課題の分析	児童・生徒の学力・体力の向上を図り、社会性を育むことができるよう、個々の状況に応じた支援を引き続き行っていく必要があります。 ＩＣＴ機器整備については、普通教室のみでなく、特別教室や少人数教室への液晶型電子黒板の配備を行い、より良い教育環境を整えていく必要があります。また、教育現場における生成ＡＩの利活用は十分に進んでいない状況にあるため、他自治体の先進事例を学び、適切に生成ＡＩを使用できる環境とその活用策について検討を進めていく必要があります。 学校を取り巻く環境が複雑化・多様化する中、教員が心身の健康を保持しながら本来の業務である学習指導や生活指導に集中するためには、長時間労働を改善するなど教員の負担軽減も欠かせません。 少子化の進展等により、持続することが困難な部活動については、地域クラブ活動への移行に向けた取組を加速化することが求められます。 担い手の高齢化や人材不足が進んで、学校支援本部のボランティア、ＰＴＡ役員のなり手の不足、学校運営協議会における若い世代の参加の少なさ等が課題となっています。各学校支援本部、ＰＴＡ、学校運営協議会などが個別に活動するのではなく、地域人材がより関わり合い面となって地域学校協働活動に取り組んでいく必要があります。

改善・見直しの方向　中長期	今後の施策の方向性	拡充
	今後の進め方	児童・生徒の学力・体力の向上と社会性の育成を図るため、他者と協働して学ぶ機会や相互理解を深める活動を進めるとともに、引き続き一人ひとりの状況に応じた学びの支援を行っていきます。学力向上に向けては、ＡＬＴ、ＪＴＥといった英語指導助手の配置等による授業支援を引き続き実施します。体力向上に向けては、児童・生徒の発達段階に応じた運動習慣の定着を図るため、実施種目の変更を検討するなど工夫していきます。教員研修は、各学校や教員の個別ニーズに応じて実施する訪問型要請研修をはじめ、オンラインやオンデマンド型研修など研修方法の充実を図ってきました。今後もこれらの取組を継続し、教員一人ひとりの経験や課題、力量に応じた研修を実施していきます。また、次期学習指導要領の改訂に沿って、研修の内容や実施方法の見直しを検討し、必要な研修機会の確保などを着実に行います。 ＩＣＴを活用した教育の更なる充実を図るため、生成ＡＩの活用に向けた検討を進めます。他自治体の先進事例を踏まえ、区の教育環境に適した活用方法の検討や、児童・生徒が安全に利用できる環境の整備に取り組んでいきます。また、学校現場の課題や改善事例を収集・分析し、その結果を運用ルールや機器調達方針に反映することで、学校の実態に即したＩＣＴ環境の整備を進めていきます。 令和7年度中に導入した庶務事務システムや支援人材を活用し、引き続き教員の働き方改革を推進します。特に、副校長は他の職層と比較して時間外在校等時間が長い傾向があることから、副校長に対する支援として副校長校務支援員の拡充に取り組みます。 部活動については、学校支援本部による放課後等活動の着実な拡充に加え、民間事業者等と連携した地域展開の取組を一層推進するなど、中学生の放課後等の活動の更なる充実に向けて取り組みます。 地域住民や保護者等が学校運営や学校支援活動に主体的に参画できるよう、学校支援本部の活動や学校運営協議会の取組事例、役割などを積極的に周知し、活動の活性化に向けた機運醸成を図っていきます。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業（評価対象外を除く））

【施策　22　】【施策名称　学び続ける力を育む学校教育の推進　】　※金額の単位は千円

	整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和7年度事業費	人件費	総事業費	施策から見た事業の方向性
1	443	地域運営学校等推進	○	○	33,055	17,328	50,383	現状維持
2	444	学校の支援	○	○	245,514	72,410	317,924	現状維持
3	450	就学事務			22,612	28,888	51,500	現状維持
4	453	児童・生徒の健康推進			11,496	24,217	35,713	現状維持
5	455	教育職員人事事務	○	○	31,165	50,602	81,767	推進（拡充）
6	457	国際理解教育の推進	○	○	153,357	23,505	176,862	現状維持
7	458	情報教育の推進	○	○	3,268,340	51,078	3,319,418	現状維持
8	460	学校給食の推進		○	4,166,327	471,012	4,637,339	現状維持
9	461	区立学校教育活動の推進			37,434	11,045	48,479	現状維持
10	465	教職員の研修	○	○	7,821	5,340	13,161	推進（拡充）
11	466	学校教育への支援	○	○	45,720	59,674	105,394	推進（拡充）
12	468	就学前教育	○	○	4,897	19,936	24,833	現状維持
13	469	学校図書館の充実			2,391	14,251	16,642	推進（拡充）
14	477	小学校の健康管理			181,196	19,320	200,516	現状維持
15	478	小学校の移動教室			326,648	13,667	340,315	現状維持
16	479	小学校就学諸援助			64,812	9,302	74,114	推進（拡充）
17	487	中学校の健康管理			87,365	17,939	105,304	現状維持
18	488	中学校の移動教室			144,750	13,667	158,417	現状維持
19	489	中学校就学諸援助			84,902	9,302	94,204	推進（拡充）
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
合計					8,919,802	932,483	9,852,285	

施策を構成する事務事業に関する特記事項	・「467学校支援教職員」事務事業としては廃止し、事業内容は「455教育職員人事事務」に統合する。 ・「450就学事務」は、令和8年度にシステム標準化が完了し、令和9年度は構築費用が不要となるため、コストの方向性は縮小としていますが、施策から見た事業の方向性は現状維持です。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅠ

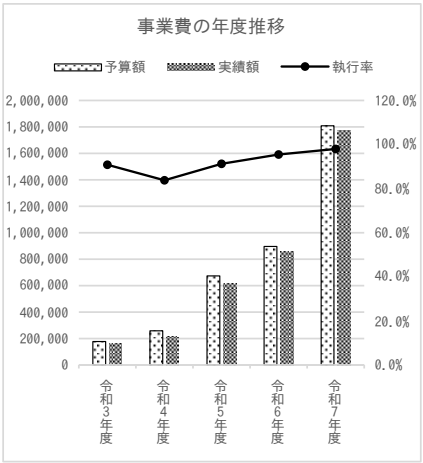
施策	23　多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進		
分野	07　共に認め合い、みんなでつくる学びのまち		
施策担当課	多様な学び支援課	関係課	

施策目標

○すべての子どもが障害や疾病、家庭や学校での状況等にかかわりなく、自分の意思と特性・状態に応じて交流したり共に学んだりできる支援体制が充実しています。
○すべての学校において、特別支援教育や教育相談に対する教職員の理解が深まり、子どもたちの多様なニーズに対して、早期に適切な支援へとつなげることができています。
○教育相談体制が充実し、学校内外において子どもや保護者が安心して相談できる環境が整うとともに、一人ひとりの状況に応じた支援が行われています。
○家庭・地域・学校・関係機関と行政が各々の役割を果たしながら連携・協働し、すべての子どもが地域社会に支えられながら学び、成長しています。

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標年度 目標値
活動指標	学校生活支援シートの作成件数	特別な支援を必要とする子どもに、長期的に一貫して適切な支援を行うことを目的として作成する支援計画の数	件	計画	1,500	2,200	2,500	2,500	
				実績	2,072	2,491	2,513	-	
				達成率	138.1%	113.2%	100.5%	-	
	教育支援チームの訪問回数	特別支援教育推進のため、小中学校を巡回訪問した件数	回	計画	400	200	350	320	
				実績	196	349	306	-	
				達成率	49.0%	174.5%	87.4%	-	
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
成果指標	「一人ひとりの違いに応じた学び(個別最適な学び)ができている」と感じている児童・生徒の割合	区立学校の児童・生徒を対象とした質問紙調査による	%	計画	60	60	53	60	令和12年度
				実績	47.4	58.6	54.5	-	70%
				達成率	79.0%	97.7%	102.8%	-	
	分類　利用者満足度指標								
	「一人ひとりの違いに応じた学び(個別最適な学び)ができる環境が整っている」と感じている保護者の割合	区立学校に通う児童・生徒の保護者を対象とした質問紙調査による	%	計画	80	80	75	85	令和12年度
				実績	66.8	63.5	64	-	95%
				達成率	83.5%	79.4%	85.3%	-	
	分類　利用者満足度指標								
	学校の教育相談体制に対する保護者の肯定率	区立学校に通う児童・生徒の保護者を対象とした質問紙調査による	%	計画	55	55	46	55	令和12年度
				実績	37.8	39.2	43.9	-	70%
				達成率	68.7%	71.3%	95.4%	-	
	分類　利用者満足度指標								
	小中学校における特別支援学級・特別支援学校との交流・共同学習への保護者の肯定率	区立学校に通う児童・生徒の保護者を対象とした質問紙調査による	%	計画	40	50	56	75	令和12年度
				実績	38.2	44.4	50	-	85%
				達成率	95.5%	88.8%	89.3%	-	
	分類　利用者満足度指標								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	177,624	258,545	673,582	896,340	1,808,565	373,860
			実績額	161,354	216,645	614,748	855,885	1,772,454	-
			執行率	90.8%	83.8%	91.3%	95.5%	98.0%	-
	人件費	千円	予算額	370,509	461,468	497,382	506,013	619,606	678,361
			実績額	385,717	481,541	484,667	556,754	601,805	-
			執行率	104.1%	104.3%	97.4%	110.0%	97.1%	-
	総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	548,133	720,013	1,170,964	1,402,353	2,428,171	1,052,221
			実績額	547,071	698,186	1,099,415	1,412,639	2,374,259	-
			執行率	99.8%	97.0%	93.9%	100.7%	97.8%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	29,433	74,354	90,490	244,931	260,012	163,401
			実績額	30,372	75,307	125,223	214,508	305,514	-
			執行率	103.2%	101.3%	138.4%	87.6%	117.5%	-
	総事業費伸び率 (予算額、実績額の対前年度比)	%	予算額		31.4%	62.6%	19.8%	73.1%	-56.7%
			実績額		27.6%	57.5%	28.5%	68.1%	-
	人件費比率 (人件費÷総事業費)	%	予算額	67.6%	64.1%	42.5%	36.1%	25.5%	64.5%
			実績額	70.5%	69.0%	44.1%	39.4%	25.3%	-



特記事項

事業費については、さざんかステップアップ天沼教室及び同荻窪教室の移転に係る調査・設計委託、済美養護学校中等部の移転に伴う改修工事と初度備品購入といった単年度経費・投資的経費の執行があったため、前年度から10%以上増加しています。

施策の成果	済美養護学校の児童・生徒数の増加に対応するため、隣接する済美教育センターの改修及び既存施設北側・南側への増築を行い、中学部移転に向けた環境整備を進めました。これにより、令和7年9月から両施設の一体的運用を開始し、機能連携の強化と、児童・生徒一人ひとりに応じたきめ細かな教育環境の整備を実現しました。 小学校全校に導入した「個別の学び支援システム」の活用により、特別支援教育に関する教員の専門性向上と業務負担の軽減を図るとともに、教育支援チームによる定例訪問や要請に応じた支援を通じて学校生活支援シートの活用が定着し、特別支援学級等を利用していない児童・生徒も含め、個に応じた指導の充実が図られました。合わせて、済美養護学校のセンター的機能の活用を推進し、支援体制の強化につなげました。また、医療的ケア児への看護師配置や支援員等の適切な配置により、多様なニーズに対応した支援体制の充実を図りました。 教育相談体制については、スクールソーシャルワーカーの増員配置と巡回支援により、児童・生徒や保護者、学校の状況に応じた対応を行うとともに、不登校の未然防止に取り組みました。また、教育相談室における心理士の増員により初回相談までの期間を短縮し、学校内外において安心して相談できる環境と迅速な支援体制を整備しました。 就学前教育施設を対象とする教育支援相談の実施では、令和6年度よりも相談件数が増加し、より多くの事例に対して教育的支援に関する助言を行いました。また、希望園には相談後に施設訪問を実施し、特別な配慮を必要とする幼児の学びや発達の支援につなげました。 不登校児童・生徒については、校内別室を全校に設置することで、安心して過ごせる多様な居場所と学びの環境を整備するとともに、さざんかステップアップ教室や地域の居場所につなぎ、社会的自立に向けた支援の充実を図りました。

課題の分析	区立小中学校に設置した特別支援教室を利用する児童・生徒は、毎年増加しています。学校生活支援シートの作成件数も増えており、校内支援体制の一層の整備が求められています。今後は、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた多様な学びを在籍学級でも充実できるよう、学校の実情を踏まえながら通常学級支援員等の配置を着実に進めるとともに、「個別の学び支援システム」等を活用し、学習内容及び教育支援の充実を図る必要があります。合わせて、支援ニーズの高まりを踏まえ、人材の確保・育成の取組を更に推進する必要があります。特別支援学級（校）との交流・共同学習は、済美養護学校と各学校の特別支援教育コーディネーターとの連携を一層強化し、副籍交流の充実を図るとともに、意義について保護者の理解を更に深めていく必要があります。また、児童・生徒が自らの長所や可能性を認識し、他者を尊重しながら協働して学ぶことができるよう支援することが重要であり、専用タブレット端末を効果的に活用し、個々の状況に応じた指導の工夫と、他者と協働する学びを一体的に推進していく必要があります。 教育相談については、不登校の未然防止や早期発見・早期対応に向け、学校と関係機関の連携強化が不可欠です。教育相談コーディネーターを中心に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携した支援を進めるとともに、校内委員会での情報共有や管理職を含めたケース会議の実施により、組織的に支援方策を検討する体制強化が求められます。 不登校支援施策については複数の事業があることから、役割や目的を整理し、全体を俯瞰した見直しを進める必要があります。このことを踏まえ、不登校児童・生徒の居場所づくりを充実させるため、さざんかステップアップ教室に加え、バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（ＶＬＰ）の内容検証や個別相談支援の強化を図る必要があります。合わせて、自校に通えないものの学習意欲のある児童・生徒の学びの場を確保するため、「学びの多様化学校」の設置に向けた教育課程の検討や環境整備を着実に進める必要があります。

改善・見直しの方向　中長期	今後の施策の方向性	拡充
	今後の進め方	特別な支援を必要とする児童・生徒の増加や教育的ニーズの多様化に対応するため、「個別の学び支援システム」の活用拡大や教育支援チームによる巡回支援の充実、教育支援相談の実施による就学前教育事業との連携により、一人ひとりに応じた切れ目のない支援体制を強化します。また、通常学級支援員や介助員等の計画的な人材確保・育成を進めるとともに、済美養護学校のセンター的機能を活用しながら、学校における特別支援教育の質の向上を推進します。 あわせて、特別支援学級の児童・生徒数の推移や地域バランスを踏まえた計画的な学級整備を進めるほか、自閉症・情緒障害特別支援学級の設置に向けた準備を着実に進め、多様な学びの場の充実を図ります。 教育相談については、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー及び教育相談コーディネーターを中心とした校内外の相談体制を強化し、不登校の未然防止、早期における把握や支援を推進します。 さらに、さざんかステップアップ教室や学びの多様化学校、バーチャル・ラーニング・プラットフォーム等を含めた不登校支援策全体の一体的な整理・見直しを進め、児童・生徒の状況に応じた多様な居場所と学びの機会の確保を図ります。 いじめ対策の充実については、学校全般の課題解決を支援する組織である学校問題対応支援係（愛称：CEDAR／シダー）に学校問題対応弁護士を配置し、体制の充実を図るとともに、法的視点を踏まえた助言、指導、支援を進めていきます。 また、学校運営を支えるため、CEDARの相談対応のあり方について検討を進めます。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業（評価対象外を除く））

【施策　23　】【施策名称　多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進　】　※金額の単位は千円

	整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和7年度事業費	人件費	総事業費	施策から見た事業の方向性
1	442	杉並区教育委員会の運営	○	○	14,755	58,983	73,738	現状維持
2	446	いじめ問題対策委員会等の運営	○	○	12,397	15,842	28,239	推進（拡充）
3	451	特別支援教育	○	○	225,791	150,964	376,755	推進（拡充）
4	456	特別支援学級・学校の環境整備	○		864,718	36,968	901,686	推進（拡充）
5	464	教育相談等運営	○	○	61,775	268,964	330,739	推進（拡充）
6	470	いじめ対策の充実	○	○	4,582	46,046	50,628	推進（拡充）
7	473	済美教育センター環境整備	○		578,096	13,172	591,268	縮小（廃止）
8	474	適応指導教室環境整備	○	○	6,802	178	6,980	推進（拡充）
9	480	小学校障害児就学奨励			1,206	5,344	6,550	現状維持
10	490	中学校障害児就学奨励			2,332	5,344	7,676	現状維持
11		以下再掲事業の評価表						
12	468	就学前教育						
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
合計					1,772,454	601,805	2,374,259	

施策を構成する事務事業に関する特記事項	

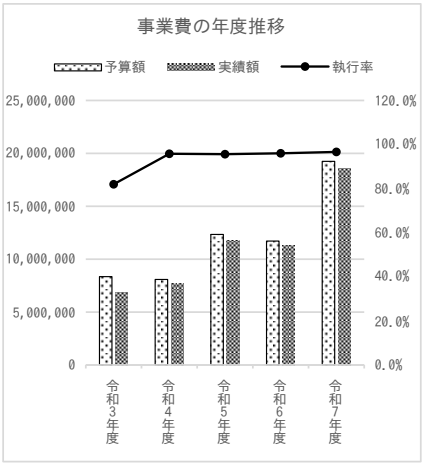
令和8年度　杉並区施策評価シートⅠ

施策	24　身近に活用できる教育環境の整備・充実		
分野	07　共に認め合い、みんなでつくる学びのまち		
施策担当課	学校運営課	関係課	地域の学び推進課、中央図書館

施策目標	○学校施設の整備、充実が図られ、子どもたちが安全で良好な教育環境の中で学び、過ごしています。 ○学校施設が地域における学びやスポーツ活動、防災の拠点として多くの区民に活用されています。 ○老朽化している図書館の整備やＩＣＴを活用した情報提供等により図書館サービスが充実し、交流や学びの場として様々な場面で活用されています。

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標年度 目標値
活動指標	富士見丘中学校の工事進捗率	富士見丘中学校の改築に係る工事進捗率	%	計画	10	40	50		
				実績	10	40	50	-	
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	
	神明中学校の工事進捗率	神明中学校の改築に係る改築に係る工事進捗率	%	計画		20	10	20	
				実績		20	10	-	
				達成率	-	100.0%	100.0%	-	
	個人貸出冊数	全図書館の個人への年間貸出冊数（延べ）	冊	計画	4,900,000	4,900,000	4,900,000	4,900,000	
				実績	4,330,697	4,200,367	4,127,072	-	
				達成率	88.4%	85.7%	84.2%	-	
	学校開放登録総数	学校開放登録団体の登録人数の合計	人	計画	16,000	16,000	16,500	16,500	
				実績	15,768	16,073	16,316	-	
				達成率	98.6%	100.5%	98.9%	-	
成果指標	小中学校の老朽改築校数	杉並区立小中学校老朽改築計画（第1次改築計画）及び杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）により改築に着手した校数（累計）	校	計画	10	10	12	14	令和12年度
				実績	9	10	12	-	21校
				達成率	90.0%	100.0%	100.0%	-	
	分類　行政サービス成果指標								
	小中学校の長寿命化改修校数	杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）により長寿命化改修に着手した校数（累計）	校	計画	1	2	2	2	令和12年度
				実績	1	2	2	-	5校
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	
	分類　行政サービス成果指標								
	図書館の新規利用登録者数	図書館利用カードを新規交付した人数	人	計画	17,000	17,500	18,000	18,500	令和12年度
				実績	17,744	16,960	18,725	-	20,500人
				達成率	104.4%	96.9%	104.0%	-	
	分類　行政サービス成果指標								
	図書館の区民一人当たりの貸出冊数	年間貸出冊数÷人口	冊	計画	8	9	9	9	令和12年度
				実績	7.53	7.25	7.06	-	11冊
				達成率	94.1%	80.6%	78.4%	-	
	分類　行政サービス成果指標								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	8,351,630	8,084,751	12,339,440	11,713,025	19,246,382	14,575,618
			実績額	6,847,134	7,746,853	11,800,112	11,248,413	18,603,890	-
			執行率	82.0%	95.8%	95.6%	96.0%	96.7%	-
	人件費	千円	予算額	2,300,135	2,200,149	2,184,055	2,143,022	2,140,421	2,241,452
			実績額	2,318,427	2,271,161	2,217,533	2,320,833	2,265,913	-
			執行率	100.8%	103.2%	101.5%	108.3%	105.9%	-
	総事業費 （事業費+人件費）	千円	予算額	10,651,765	10,284,900	14,523,495	13,856,047	21,386,803	16,817,070
			実績額	9,165,561	10,018,014	14,017,645	13,569,246	20,869,803	-
			執行率	86.0%	97.4%	96.5%	97.9%	97.6%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	196,850	179,442	544,791	494,790	742,214	379,113
			実績額	296,291	210,466	696,818	501,428	937,426	-
			執行率	150.5%	117.3%	127.9%	101.3%	126.3%	-
	総事業費伸び率 （予算額、実績額の対前年度比）	%	予算額		-3.4%	41.2%	-4.6%	54.3%	-21.4%
			実績額		9.3%	39.9%	-3.2%	53.8%	-
	人件費比率 （人件費÷総事業費）	%	予算額	21.6%	21.4%	15.0%	15.5%	10.0%	13.3%
			実績額	25.3%	22.7%	15.8%	17.1%	10.9%	-



特記事項

○富士見丘中学校及び中瀬中学校の新校舎建設工事が竣工し、出来高の多い工事費支出であったため事業費が大幅に増加しています。図書館運営に係る事業は、高円寺図書館が区直営から指定管理に変更したことに伴う運営管理経費支出のため前年度から増加しています。
○活動指標の神明中学校の設計進捗率及び高円寺図書館の工事進捗率は既に完了している活動のため、神明中学校の工事進捗率と個人貸出冊数に変更しました。

施策の成果	富士見丘中学校と中瀬中学校は新校舎建設工事が終了し、令和8年4月から新校舎での学校運営を開始しました。神明中学校は新校舎建設工事を進め、杉並第二小学校は環境整備工事に着手しました。杉並第一小学校では基本設計をまとめ実施設計に着手しました。西宮中学校では改築等検討懇談会を開催して基本計画を策定し、天沼中学校では改築検討懇談会を開催し基本設計の案をとりまとめました。さらに長寿命化改修として久我山小学校と杉並第十小学校、中規模修繕として堀之内小学校外6校の工事を行うとともに、令和8年度以降の改修に向け、東田中学校の設計に着手しました。こうした学校施設の整備、充実が図られた良好な教育環境を子どもたちに提供するための計画の取組を着実に進めることができました。 このほか、令和7年3月から、小学校7校において、学校施設の利用調整が可能な公共施設予約システム「さざんかねっと」の運用を開始しました。インターネットによる予約抽選や空き枠検索が可能となったことで、利用者の利便性を向上することができました。 図書館運営では、全館に設置している自動貸出機や予約資料受取棚（中央図書館と高円寺図書館に設置）に加え、令和7年度には全館にセキュリティゲートを設置したことにより、貸出業務のセルフサービス化や資料の紛失防止等を図るとともに、ＩＣタグシステムを利用した図書館サービスの向上と業務の効率化につなげました。 また、令和8年2月に杉並区デジタルアーカイブの運用を開始し、時間や場所を問わず、誰もが杉並区の歴史・文化等の資料を閲覧できる環境を整備しました。

課題の分析	「杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）」で、将来を見据えた学校づくりとして考え方を示している老朽改築や長寿命化改修について、その具体化を図るため、杉並区実行計画において示している計画を着実に進める必要があります。しかし、敷地の制約や工期の長期化等により、築65年までの改築が困難なケースも生じていることから、建物の耐用年数調査の結果などを踏まえ、適切な更新時期等について再検討が必要です。 また、区民がスポーツや文化に親しむ場を提供する学校開放事業のニーズは依然として高いことから、公共施設予約システム「さざんかねっと」の導入校拡大を進めていきます。 「学びのプラットフォーム」の考え方を踏まえ、放課後の子どもの居場所づくりや地域と学校の協働活動を支えるとともに、多くの地域人材が活躍する拠点となる「場」の創出に向けた環境整備や、幅広い区民の参加や交流などソフト面の充実にも取り組む必要があります。 図書館運営では、蔵書数は増加していますが、全図書館の年間貸出冊数の減少が続いており、蔵書が十分に活用しきれていないことが課題です。令和7年度に貸出冊数が減少している主な要因は、図書館の老朽化による修繕、外壁やエレベーター及び空調機器工事により、複数館で5日～約2か月間の休館期間を設けたことが大きな理由だと考えられます。施設の整備を図るとともに、安定的な図書館サービスの一環として、電子図書の導入について検討し、早期実現に向けて準備を進める必要があります。

改善・見直しの方向　中長期	今後の施策の方向性	拡充
	今後の進め方	杉並区実行計画で定めた改築校において、設計及び工事を着実に進めます。また、今後の改築候補校については、建物の耐用年数調査の結果などを踏まえ、適切な更新時期等について検討し、方針を定めます。 なお、区立小中学校の長寿命化改修については、今後、実施校数が増加していく見込みのため、より計画的に事業を実施していきます。 学校施設の有効活用では、公共施設予約システム「さざんかねっと」の導入校拡大に向けた準備を進めるとともに、使用券購入時におけるキャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性向上を図るなどの取組を推進します。 図書館では、ＩＣタグシステム、図書館システム、指定管理事業について、経済情勢等の変化に対応した所要経費を精査し、安定した事業運営とサービス水準の維持に努めます。また、新たな資料提供サービスとして、来館が困難な方を含む全ての利用者が、時間や場所を問わず、インターネットを通じて24時間いつでも利用できる電子書籍の提供に向けた準備を進め、早期実現を目指します。デジタルアーカイブ事業は、コンテンツの更なる充実と普及啓発を図り、より多くの区民等が区の歴史・文化情報を活用することができるよう取り組んでいきます。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業（評価対象外を除く））

【施策　24　】【施策名称　身近に活用できる教育環境の整備・充実　】　※金額の単位は千円

	整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和7年度事業費	人件費	総事業費	施策から見た事業の方向性
1	475	小学校の運営管理	○	○	3,336,939	862,949	4,199,888	現状維持
2	481	小学校の施設整備			232,919	70,736	303,655	現状維持
3	482	杉並第一小学校の改築	○	○	64,360	23,597	87,957	現状維持
4	483	杉並第二小学校の改築	○	○	533,718	14,945	548,663	縮小（廃止）
5	484	小学校の長寿命化改修	○	○	881,366	8,501	889,867	現状維持
6	485	中学校の運営管理		○	1,355,633	223,912	1,579,545	現状維持
7	491	中学校の施設整備			451,288	76,877	528,165	現状維持
8	492	富士見丘小・中学校の改築	○	○	3,361,665	12,517	3,374,182	縮小（廃止）
9	493	中瀬中学校の改築	○	○	3,979,554	15,034	3,994,588	現状維持
10	494	中学校の長寿命化改修	○		1,233,250	15,739	1,248,989	現状維持
11	495	神明中学校の改築	○	○	1,035,383	9,669	1,045,052	現状維持
12	496	西宮中学校の改築	○	○	5,552	17,145	22,697	現状維持
13	497	天沼中学校の改築	○	○	62,517	15,230	77,747	現状維持
14	500	学校開放施設の団体・区民利用等	○		100,574	47,188	147,762	推進（拡充）
15	504	図書館運営	○	○	1,574,576	531,166	2,105,742	推進（拡充）
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
合計					18,209,294	1,945,205	20,154,499	

施策を構成する事務事業に関する特記事項	改築事業は、工程に応じて各年度のコストが増減するため、事業が完了する予定の杉並第二小学校、富士見丘小・中学校以外の改築事業は、施策から見た事業の方向性は現状維持としています。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅠ

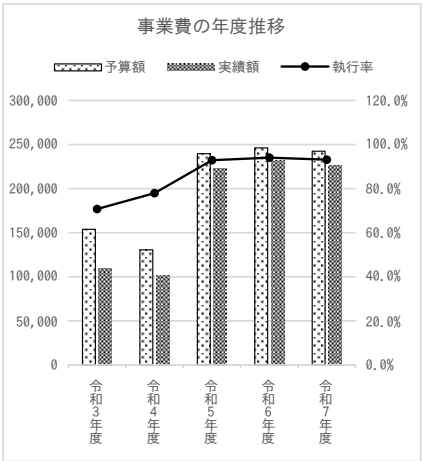
施策	25　生涯にわたる学びの支援		
分野	07　共に認め合い、みんなでつくる学びのまち		
施策担当課	地域の学び推進課	関係課	地域の学び推進課

施策目標

○身近な地域に多様な学びの機会が生まれ、すべての区民が地域の中でいきいきと学び続けています。
○人と人、人と学びや活動の場をつなげるための支援が充実し、他者とのかかわりや学び合い・教え合いを通じて、みんなでより良い地域づくりを行っています。
○地域の歴史や文化を学ぶ機会が充実し、わがまち杉並の歴史や文化を理解する区民が増えるとともに、区民がわがまちに誇りを持ち、郷土愛が一層育まれています。

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標年度 目標値
活動指標	成人学習支援事業における実施講座数	すぎなみ大人塾、すぎなみU30ミーティング等成人学習支援のために実施する講座数	講座	計画	4	4	4	4	
				実績	4	4	4	-	
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	
	地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会開催事業回数	中学校区地域を主体とした活動量	回	計画	83	103	136	132	
				実績	260	124	122	-	
				達成率	313.3%	120.4%	89.7%	-	
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
成果指標	生涯学習を通じて身に付けた知識・技能や経験を地域や社会での活動に生かしている区民の割合	区民意向調査による	%	計画	9.5	10	10.5	11	令和12年度
				実績	5.8	8.3	7.2	-	13%
				達成率	61.1%	83.0%	68.6%	-	
	分類　利用者満足度指標								
	地域の行事に参加している児童・生徒の割合	区立学校の児童・生徒を対象とした質問紙調査	%	計画	51	52	52	53	令和12年度
				実績	45.8	69.1	65.2	-	60%
				達成率	89.8%	132.9%	125.4%	-	
	分類　利用者満足度指標								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	153,900	130,573	239,643	246,207	242,461	266,287
			実績額	108,900	101,792	222,638	231,573	225,825	-
			執行率	70.8%	78.0%	92.9%	94.1%	93.1%	-
	人件費	千円	予算額	148,718	142,791	150,841	161,912	187,093	180,568
			実績額	150,701	155,582	155,858	181,388	202,611	-
			執行率	101.3%	109.0%	103.3%	112.0%	108.3%	-
	総事業費 （事業費+人件費）	千円	予算額	302,618	273,364	390,484	408,119	429,554	446,855
			実績額	259,601	257,374	378,496	412,961	428,436	-
			執行率	85.8%	94.2%	96.9%	101.2%	99.7%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	1,000	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	総事業費伸び率 （予算額、実績額の対前年度比）	%	予算額		-9.7%	42.8%	4.5%	5.3%	4.0%
			実績額		-0.9%	47.1%	9.1%	3.7%	-
	人件費比率 （人件費÷総事業費）	%	予算額	49.1%	52.2%	38.6%	39.7%	43.6%	40.4%
			実績額	58.1%	60.4%	41.2%	43.9%	47.3%	-



特記事項

施策の成果	身近な地域における多様な学びの機会の創出と、人と人とのつながりの形成に向けた取組を進め、区民が生涯にわたり学び続けることができる環境づくりを進めました。 学びの機会の提供においては、郷土博物館の特別展、企画展、出前型展示や各種講座の実施により、地域の歴史や文化に触れる機会を広げるとともに、科学教育においては体験型展示や出前型講座、移動式プラネタリウム等を地域施設やイベントで展開し、身近な場所で多様な学びの機会を提供しました。 また、学び合い・教え合いを通じたつながりの創出に向け、「すぎなみ大人塾」や「すぎなみU30ミーティング」の実施により、区民同士の交流や自主的な活動の創出を促進するとともに、社会教育団体との協働や社会参加支援事業を通じて、多様な区民が学びに参加する機会を広げました。 さらに、社会教育士の育成や活動支援を進めることで、資格取得者が増加するとともに、そうした人材が地域や庁内において様々な活動や取組に関わるようになるなど、人と学びや活動の場をつなぐ社会教育士の活用が進んでいます。 加えて、青少年委員を中心とした取組への支援により、子どもたちが主体的に地域に関わる機会の創出や、家庭・地域・学校が連携した学びの場の充実を図りました。

課題の分析	区民が学び続け、その成果を地域や社会での活動へつなげていくためには、学びの機会の提供に加え、人と人、人と活動の場を結び付ける取組を一層充実させていくことが重要です。こうした中、「生涯学習を通じて身に付けた知識等を地域や社会での活動に生かしている区民の割合」は前年度から減少しており、学びの成果の地域活動への展開が十分とはいえない状況であることから、取組の内容について引き続き工夫していく必要があります。 こうした状況を踏まえ、社会教育士をはじめとする地域や社会で活躍する人材については、育成や活動支援により人材やつながりの広がりに一定の進展が見られることから、その知識や経験が地域や社会での活動により一層生かされるよう、引き続き活躍の場の充実を図るとともに、身近な学校を拠点とした活動への参画の促進にも取り組んでいきます。 合わせて、地域における学びの機会についても、郷土博物館や成人学習事業等においてその提供は進んでいる一方で、より幅広い区民の参加につなげていくことが課題であることから、これまで学習や活動の経験が少ない層にも届くよう、参加しやすい環境づくり、ニーズを踏まえた内容の充実、効果的な周知を進めていきます。 さらに、「地域の行事に参加している児童・生徒の割合」は目標値を上回っているものの前年度から低下しており、子どもたちの安定した地域参画が課題です。地域教育連絡協議会や地域教育推進協議会における子ども地域活動促進事業を通じて、子どもたちの主体的な地域参加が継続・発展していくよう、事業内容や運営方法に工夫が重ねられるよう支援を行っていきます。 なお、家庭・地域・学校をつなぐパイプ役としてこれらの活動を支える青少年委員については、活動が多岐にわたる中で負担の増加や役割の不明確さ、欠員といった状況も見られることから、持続可能な制度への見直しや新たな仕組みの検討を進める必要があります。

改善・見直しの方向　中長期	今後の施策の方向性	サービス増
	今後の進め方	誰もが生涯にわたり学び続け、その成果を地域や社会での活動に生かしていくことができるよう、学びの機会の充実と人と人、人と活動の場をつなぐ取組を一層推進していきます。 そのため、郷土博物館による事業や科学教育事業、成人学習支援事業等においては、学校をはじめとした身近な地域施設を活用した学びの機会の充実を図ります。また、事業の実施を通じて把握した課題や参加者、関係団体等の意見を踏まえて内容の充実を図るとともに、区の広報媒体に加え地域の掲示板等も活用した効果的な情報発信により、より幅広い区民への周知と参加促進につなげていきます。科学教育事業については、区民が科学に親しむ機会を継続的に提供できるよう、実施体制の確保を図りながら取組を進めていきます。さらに、社会教育団体等との連携・協働を進め、多様な区民が学びに参加できる環境づくりに取り組みます。 あわせて、社会教育士をはじめとする地域人材の育成・活動支援を継続するとともに、学校を核とした地域づくりを含めその知識や経験を生かせる場の充実を図ります。また、学び合いの場やネットワークづくりを通じて、学びや活動に関わる区民同士のつながりを広げ、学びの成果を地域や社会での活動に生かすことができる取組を進めます。 このほか、地域教育連絡協議会や地域教育推進協議会等との連携を通じて、子どもたちの主体的な地域参加の促進を支援するとともに、家庭・地域・学校が連携した学びの環境づくりを進めます。さらに、青少年委員については、役割や活動内容の見直しを進め、地域の多様な主体が連携して子どもの成長を支える持続可能な体制の構築に取り組んでいきます。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業（評価対象外を除く））

【施策　25　】【施策名称　生涯にわたる学びの支援　】　※金額の単位は千円

	整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和7年度事業費	人件費	総事業費	施策から見た事業の方向性
1	498	社会教育委員			1,057	12,425	13,482	現状維持
2	499	社会教育の振興	○	○	7,762	24,883	32,645	現状維持
3	502	地域教育力の向上	○	○	8,941	38,459	47,400	現状維持
4	505	次世代型科学教育の推進	○	○	19,120	24,921	44,041	その他
5	506	社会教育事業の運営	○	○	11,734	78,599	90,333	現状維持
6		以下再掲事業の評価表						
7	444	学校の支援						
8	501	文化財調査・保護						
9	503	郷土博物館の運営管理						
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
合計					48,614	179,287	227,901	

施策を構成する事務事業に関する特記事項	「次世代型科学教育の推進」については、科学体験施設「IMAGINUS（イマジナス）」の閉館に伴い、実施体制を見直しながら出前型科学講座等を継続し、区民が科学に親しむ機会を確保するとともに、その展開を支える科学の拠点機能のあり方について検討を進めます。 この対応に伴い、当該事務事業については事業コストの方向性は「拡充」となるものの、その要因は事業拡大によるものではなく、施設閉館に伴う事業実施体制の変更や科学の拠点機能の再構築に向けた対応によるものであるため、施策から見た事業の方向性を「その他」としています。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅠ

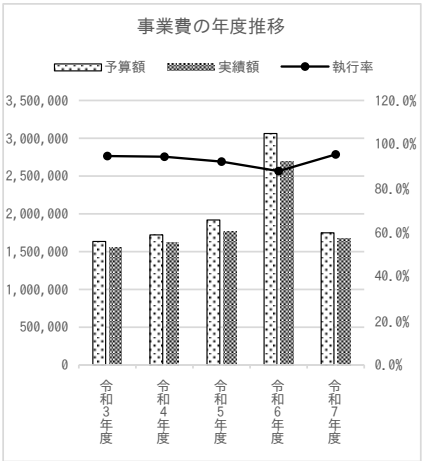
施策	26　多様な地域活動への支援		
分野	07　共に認め合い、みんなでつくる学びのまち		
施策担当課	地域課	関係課	

施策目標

○町会・自治会をはじめとする多様な地域団体が、活動の場を必要としている地域人材の受け皿となりながら、互いに連携・協働して地域活動を充実し、自らのまちをより良くする取組を進めています。
○地域活動の担い手となる人材が自ら学び、育ち、積極的に地域活動に参加することにより、住民自治の基盤となる地域コミュニティの活性化が図られています。
○多様な地域団体や区民の活動・交流等の拠点となる地域集会施設について、地域バランスを考慮し、計画的に整備されています。

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標年度 目標値
活動指標	地域住民活動の支援にかかる事業総数	まちの絆向上事業助成件数	件	計画	24	20	20	24	
				実績	13	19	21	－	
				達成率	54.2%	95.0%	105.0%	－	
	地域集会施設有料利用者数	区民センターなどの地域集会施設を有料で利用した数	人	計画	1,250,000	1,300,000	1,400,000	1,500,000	
				実績	1,249,004	1,314,190	1,393,359	－	
				達成率	99.9%	101.1%	99.5%	－	
	すぎなみ地域大学講座受講者数	すぎなみ地域大学開催の講座に参加した数	人	計画	700	800	800	800	
				実績	707	745	755	－	
				達成率	101.0%	93.1%	94.4%	－	
				計画					
				実績				－	
				達成率	－	－	－	－	
成果指標	地域活動に参加している区民の割合	区民意向調査による	%	計画	16	18	19	20	令和12年度
				実績	13.6	15.9	17.7	－	24%
				達成率	85.0%	88.3%	93.2%	－	
	分類　利用者満足度指標								
	すぎなみ地域大学講座受講者の地域活動参加者数(累計)		人	計画	6,450	6,700	6,800	7,000	令和12年度
				実績	6,905	7,310	7,499	－	8,000人
				達成率	107.1%	109.1%	110.3%	－	
	分類　行政サービス成果指標								
	集会施設の利用率	利用回数÷利用可能回数	%	計画	51.8	52	52.5	53	令和12年度
				実績	51.5	50.4	52.9	－	55%
				達成率	99.4%	96.9%	100.8%	－	
	分類　行政サービス成果指標								
				計画					
				実績				－	
				達成率	－	－	－	－	
	分類								
				計画					
				実績				－	
				達成率	－	－	－	－	
	分類								
				計画					
				実績				－	
				達成率	－	－	－	－	
	分類								

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	1,634,435	1,721,445	1,918,693	3,062,729	1,748,880	3,681,502
			実績額	1,549,292	1,626,502	1,770,359	2,693,756	1,670,637	－
			執行率	94.8%	94.5%	92.3%	88.0%	95.5%	－
	人件費	千円	予算額	368,658	381,933	376,887	399,304	414,893	321,148
			実績額	385,372	446,472	413,011	445,377	331,605	－
			執行率	104.5%	116.9%	109.6%	111.5%	79.9%	－
	総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	2,003,093	2,103,378	2,295,580	3,462,033	2,163,773	4,002,650
			実績額	1,934,664	2,072,974	2,183,370	3,139,133	2,002,242	－
			執行率	96.6%	98.6%	95.1%	90.7%	92.5%	－
	国・都からの補助金等	千円	予算額	7,095	6,976	9,983	7,886	8,389	50,939
			実績額	7,393	5,644	8,699	5,121	6,808	－
			執行率	104.2%	80.9%	87.1%	64.9%	81.2%	－
	総事業費伸び率 (予算額、実績額の対前年度比)	%	予算額		5.0%	9.1%	50.8%	-37.5%	85.0%
			実績額		7.1%	5.3%	43.8%	-36.2%	－
	人件費比率 (人件費÷総事業費)	%	予算額	18.4%	18.2%	16.4%	11.5%	19.2%	8.0%
			実績額	19.9%	21.5%	18.9%	14.2%	16.6%	－



特記事項

さざんかネットのシステム改修完了とコミュニティふらっと2施設の工事完了により、事業費が減少しました。
成果指標（２）は令和7年度から集計方法の一部見直しを行いました。

施策の成果	町会・自治会に対しては、「まちの絆向上事業助成」により各種イベント等の実施を支援するとともに、「町会・自治会もう一歩すすめ隊」による伴走型支援を行い、団体が抱える運営上の課題解決や活動内容の充実を図りました。また、地域区民センター協議会において、住民同士の交流を促進する講座の開催や地域団体との協働事業を推進しました。これらの取組により、地域コミュニティの活性化につなげました。 地域活動の担い手の養成については、すぎなみ地域大学において、既存講座に加え、地域ニーズを踏まえた新規講座を所管課と連携して企画・運営しました。その結果、地域活動に関心を持ち、実際に参画する区民の増加につながり、地域コミュニティを支える人材の育成が図られました。 多様な地域団体や区民の活動・交流拠点となる地域集会施設については、計画に基づき概ね順調に整備を進めることができました。さらに、令和8年3月から、さざんかねっと（杉並区公共施設予約システム）において使用料のクレジットカード決済を導入し、施設利用の利便性を向上させました。これにより、施設利用の促進が期待されるほか、地域活動の活発化にもつながることが見込まれます。

課題の分析	町会・自治会においては、加入者減少や役員の高齢化、担い手不足などの課題の影響が大きくなっています。これまで、従来の助成や伴走型支援を実施してきたものの、活動基盤の弱体化に歯止めがかかっていない状況にあります。このため、今後は従来の取組に加えて、マンション対策を強化していくとともに、活動の効率化と役員の負担軽減、若い世代の参加促進にもつながるデジタル化を推進していくことで、課題の解決を図っていきます。 すぎなみ地域大学については、受講者数等は増加している一方、講座修了後の地域活動への接続や人材活用が十分とは言えない状況にあります。今後は、地域課題や区民ニーズに即した講座の充実に加え、関係部署・団体との連携を強化し、修了生が地域の担い手として活躍できる仕組みの構築を進めていきます。 地域集会施設については、利用率や利用満足度が向上している一方、施設・設備の老朽化や機能面の充実、さらには手続きの利便性向上が課題となっています。このため、「区立施設マネジメント計画」に基づく計画的な施設整備や運営改善を進めるとともに、利用者登録のオンライン化に取り組み、さらなる利便性の向上と地域コミュニティの拠点としての機能強化を図っていきます。

改善・見直しの方向　中長期	今後の施策の方向性	拡充
	今後の進め方	町会・自治会活動を支援するため、掲示板や防犯カメラの設置等に対する助成を継続するとともに、「まちの絆向上事業助成」を活用した地域活動団体との連携を促進し、地域コミュニティの活性化と地域のつながりの強化を図っていきます。また、高齢化や担い手不足、加入率の低下といった課題の解決に向け、「町会・自治会もう一歩すすめ隊」による伴走型支援の充実や町会・自治会等と連携したマンション居住者への加入促進等の取組の充実・強化などに取り組んでいきます。あわせて、情報伝達・共有システムの実証実験の拡充など、デジタル化を幅広く推進することで、町会・自治会の運営体制の強化を図っていきます。 すぎなみ地域大学については、修了生が地域で活躍できる機会を確保・充実していくため、関係部署・団体との連携を強化していくとともに、町会・自治会や地域区民センター協議会への参加にもつなげていき、地域人材の発掘・活用につながる機能を充実していきます。 地域集会施設については、施設利用者等の声を幅広く聴きながら、旧若杉小学校跡地への地域施設整備のほか、老朽化への対応や機能面の充実、運営改善を図り、地域の課題解決や地域コミュニティの拠点としての機能強化に取り組んでいきます。また、公共施設予約システム（さざんかねっと）については、利用者登録のオンライン化やキャッシュレス決済の拡充等を進めることで、手続きの利便性及び利用者満足度の向上を図っていきます。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業（評価対象外を除く））

【施策　26　】【施策名称　多様な地域活動への支援　】　※金額の単位は千円

	整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和7年度事業費	人件費	総事業費	施策から見た事業の方向性
1	059	地域住民活動の支援	○	○	121,822	194,756	316,578	推進（拡充）
2	060	すぎなみフェスタ			8,550	11,392	19,942	推進（拡充）
3	061	ＮＰＯ等の活動支援	○		67,751	36,045	103,796	推進（拡充）
4	062	地域人材の育成	○		23,681	14,251	37,932	現状維持
5	063	公共施設予約システム維持管理			156,188	23,647	179,835	現状維持
6	076	地域集会施設等維持管理			1,202,741	15,217	1,217,958	現状維持
7	078	コミュニティふらっとの整備	○	○	10,803	27,857	38,660	推進（拡充）
8	079	荻窪地域区民センターの改修	○		79,101	8,440	87,541	縮小（廃止）
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
合計					1,670,637	331,605	2,002,242	

施策を構成する事務事業に関する特記事項	